

# 県政だより みえ

三重県の県政情報をお届けします

# 3

平成30年(2018)

No.404

◎広報紙  
毎月1日発行

◎データ放送  
毎週木曜日更新

- 特集 1 認知症になっても安心して暮らせる三重へ
- 特集 2 三重県への移住促進の取り組み
- 特集 3 国民健康保険の財政運営が県に一元化されます

知事が行く!  
突撃取材!

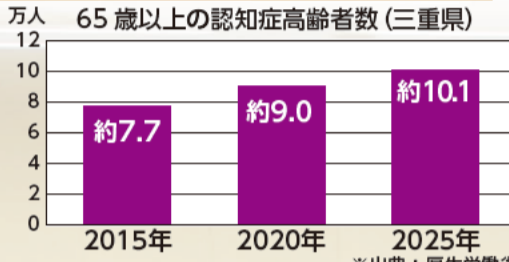
~新規就農者を応援~

誰もが魅力を感じる農業をめざして



「県政だより みえ」は政策情報を中心に、毎月第一日曜日に新聞折り込みでお届けしています。イベントやお知らせなど暮らしに役立つ最新情報はデータ放送でご覧いただけます。

## 認知症高齢者の将来推計



認知症は、誰もがなる可能性のある病気で、加齢に伴い出現率が高くなります。社会の高齢化が進む今、認知症の人の増加が予想されています。

# 認知症のこと、一人で悩まないで



平成30年1月実施 認知症サポーター養成講座 (百五銀行・百五証券)



講座では、認知症について学ぶテキストを配布しています。

**認知症サポーター養成講座のご案内**  
認知症の正しい知識や認知症の方との接し方などを学ぶ講座を各地で開催しています。詳細は、長寿介護課または、各市町にお問い合わせください。

今号では、認知症と向き合うために知っておきたいポイントを紹介いたします。  
現在、地域住民、会社員、小・中・高等学校の児童生徒など、県内で約15万人のサポーターが誕生しています。認知症サポーターは、身近な地域で認知症の人や家族を見守ったり、支えたりする応援者です。

県では、認知症の人とその家族をみんなで支え、誰もが暮らしやすい三重をつくるために、認知症を正しく理解し、支援する「認知症サポーター」の養成を進めています。

「認知症サポーター」が活躍!  
認知症を理解した  
身近な応援者



認知症サポーターの証であるオレンジリング

特集 1

# 認知症になっても安心して暮らせる三重へ

認知症は物忘れとは違い、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりすることでさまざまな症状が起こり、生活する上で支障が出てくる状態を表します。85歳以上では、二人に一人が何らかの認知症の症状を有しているとも言われています。私たち一人ひとりが自分もなる可能性のあることとして、認知症を正しく理解することが大切です。

認知症の原因と治療の重要性  
認知症の中で一番多い、アルツハイマー型認知症は、薬で進行を遅らせることができます。脳血管性認知症においては、原因となる脳梗塞、脳出血などの再発を防ぐことで認知症の進行が止まることがあります。

## 認知症の症状

主に、次のような症状があります。

### 『行動・心理症状』

**外に出て行き、戻れない**  
道が分からなくなる。または、外出した際に戻れなくなる。

**妄想**  
物を盗まれたなど事実でないことを思い込む。

**暴力行為**  
自分の気持ちをうまく伝えられない、感情をコントロールできないために暴力をふるう。

**不潔行為**  
風呂に入らない。排せつ物をもてあそぶ。

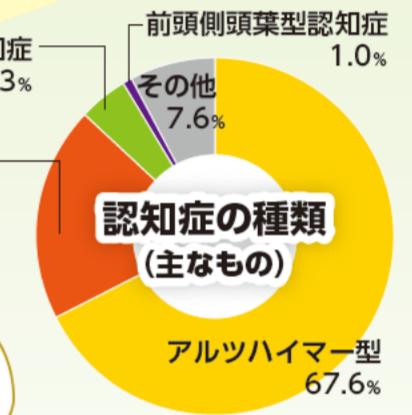
### 『中核症状』

**理解・判断力の障害**  
考えるスピードが遅くなる。家電やATMなどが使えなくなる。

**実行機能障害**  
計画や段取りをたてて行動できなくなる。

**見当識障害**  
時間や場所、人との関係が分からなくなる。

**記憶障害**  
物事を覚えられなくなる。または、思い出せなくなる。

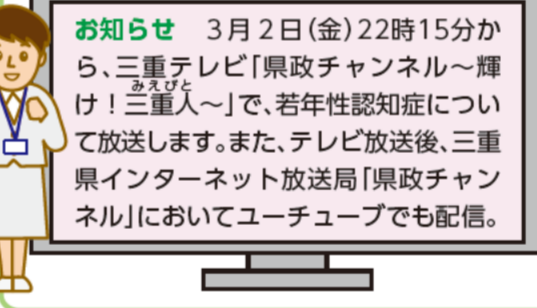


認知症は、早期診断・早期治療していただくことが大切です。一人でも悩まず抱えこまず、認知症について相談しましょう。

### 若年性認知症の相談について

若年性認知症は65歳未満で発症する認知症です。県では、若年性認知症支援コーディネーターを設置して相談を受け付けています。

相談連絡先 ☎ 090・5459・0960  
開設時間 月曜から金曜 10時～17時  
※祝日および年末年始を除く



### 専門家の相談窓口のご案内

**三重県認知症コールセンター** ☎ 059・235・4165  
家族が認知症ではないかと心配する人や、介護で悩んでいる人などの相談に応じています。必要と判断した場合は医療機関の受診や介護サービスの利用のアドバイスをします。  
開設時間：月曜、火曜、木曜、金曜、土曜 10時～18時 ※祝日および年末年始を除く

**地域包括支援センター**  
保健師、社会福祉士、主任ケアマネージャー等の専門職が認知症の医療、介護サービスの利用方法などの相談に応じています。お住まいの市町の地域包括支援センターにご連絡ください。  
※連絡先は、長寿介護課のホームページで紹介しています。

**認知症疾患医療センター** 認知症の専門的な医療相談を実施しています。

三重大学医学部附属病院(津市)	☎ 059・231・6029
東員病院(東員町)	☎ 0594・41・2383
三原クリニック(四日市市)	☎ 059・347・1611
まずがわ神経内科クリニック(鈴鹿市)	☎ 059・369・0001
県立こころの医療センター(津市)	☎ 059・235・2125
信貴山病院分院 上野病院(伊賀市)	☎ 0595・21・8800
松阪厚生病院(松阪市)	☎ 0598・29・4522
いせ山川クリニック(伊勢市)	☎ 0596・31・0031
熊野病院(熊野市)	☎ 0597・88・1123

※詳しい開設日時については、長寿介護課のホームページで紹介しています。

問い合わせ先/健康福祉部 長寿介護課 ☎059・224・3327 FAX 059・224・2919 E-mail chojus@pref.mie.jp

特集 2

## ええとこやんか三重



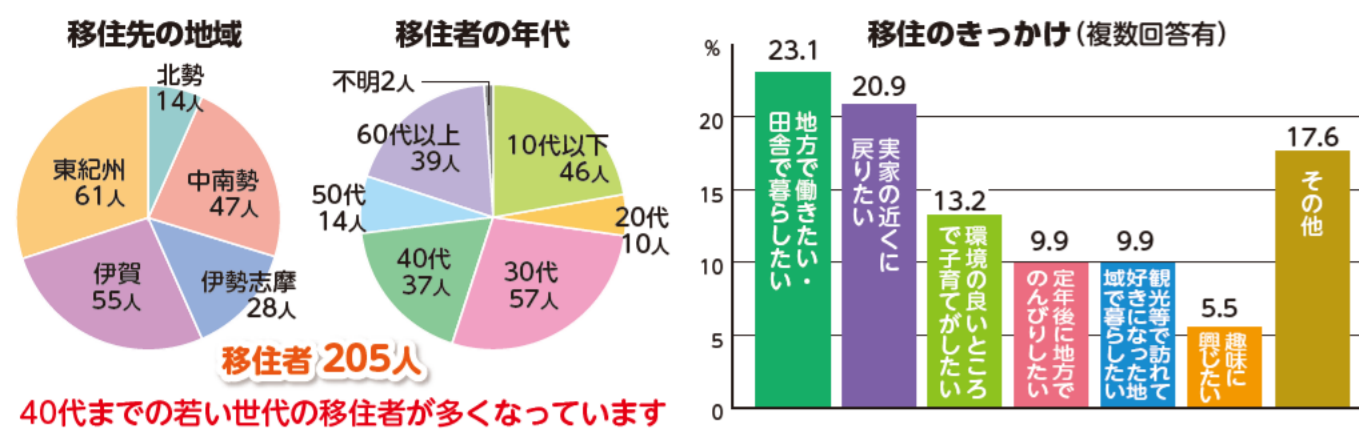
### 三重県への移住促進の取り組み

県では、人口減少が深刻な問題となる中、地域の活力の維持・向上に向けて移住促進などの取り組みを進めています。今号では、三重県への移住の魅力や移住者を迎え入れる魅力ある地域づくりについて紹介します。

県では、東京に移住相談センターを開設するなど、移住に関心のある方へのきめ細かな相談を行うとともに、市町や関係機関と連携して、仕事や暮らしなど、移住に関するさまざまな情報の提供、発信を行っています。

### 県および市町の施策等を利用した県外からの移住者の状況

平成28年度の移住者数は、平成27年度の約65%増となる205人となりました。また、平成28年度の移住相談件数は、平成27年度の約1.5倍の1,137件でした。



**ええとこやんか三重 移住相談センター**  
移住相談アドバイザーが移住に関する相談にワンストップで応じています。  
場所・東京有楽町駅前東京交通会館8階  
ふるさと回帰支援センター内  
開催時間：火曜から日曜 10時から18時まで  
定休日：月曜・祝日および年末年始

**ええとこやんか三重 移住相談センター**  
移住相談アドバイザーが移住に関する相談にワンストップで応じています。  
場所・東京有楽町駅前東京交通会館8階  
ふるさと回帰支援センター内  
開催時間：火曜から日曜 10時から18時まで  
定休日：月曜・祝日および年末年始

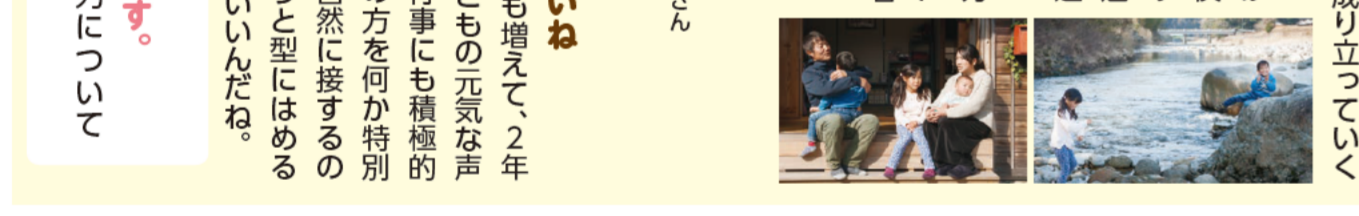
**三重への移住に向けた情報発信**  
首都圏在住の移住希望者を対象に、ウェブ記事による情報発信、移住して三重で活躍する女性や起業家によるトークイベント、現地訪問ツアーを組み合わせたプロモーション事業を実施しました。

**移住者の受入体制の整備**  
県と市町が連携、協力するネットワークづくりを行っています。市町では移住相談窓口の設置や、「空き家バンク」制度の運用、「移住体験ツアー」の実施などを進めています。

**地域の魅力をつくる鍵は、三重県で暮らす私たち自身です。**  
皆さんもあらためて地域の魅力について考えてみませんか。

**移住者の皆さんと地域が一緒によくなっていきたいね**  
ここ2年くらいで移住される方も増えて、2年前は入学数ゼロだった小学校に子どもたちの元気な声が聞こえるようになった。地域の行事にも積極的に参加してもらえらる。移住者の方を何か特別なこととして迎えるのではなく、自然に接するのがいいのかな。おもてなしをしようという型にはめると堅苦しくなるので、ありのままがいいんだね。

**地域の魅力をつくる鍵は、三重県で暮らす私たち自身です。**  
皆さんもあらためて地域の魅力について考えてみませんか。



問い合わせ先/地域連携部 地域支援課 ☎059・224・2420 FAX 059・224・2219 E-mail chiiki@pref.mie.jp

特集 3

## 国民健康保険の財政運営が県に一元化されます

国民健康保険(国保)は、社会保険や後期高齢者保険の加入者を除く方々(75歳未満の自営業者、農林水産業者、企業などを退職された方など)を対象とした市町単位で運営される公的医療保険制度です。これまで財政運営が不安定になりがちだった小規模市町が、安心して事業が行えるよう、平成30年4月1日から29市町の財政運営を県に一元化します。

**国保加入者の皆さんの手続きや対応窓口は変わりません**  
国民健康保険(国保)は、社会保険や後期高齢者保険の加入者を除く方々(75歳未満の自営業者、農林水産業者、企業などを退職された方など)を対象とした市町単位で運営される公的医療保険制度です。これまで財政運営が不安定になりがちだった小規模市町が、安心して事業が行えるよう、平成30年4月1日から29市町の財政運営を県に一元化します。

**制度改正を原因とした市町の負担増はありません**  
制度が変更することによる保険料の増額が起これらないうよう、市町の負担増が生じた場合は全て補てんします。

**国保加入者の所得や資産およびお住まいの市町の状況により、保険料が増加する可能性があります。**  
詳しくはお住まいの市町にお尋ねください。

**問い合わせ先/健康福祉部 医療対策局 医療国保課**  
☎059・224・2703 FAX 059・224・2340 E-mail iyo@pref.mie.jp



第24回

～新規就農者を応援～

# 誰もが魅力を感じる農業をめざして

## 農業を続けていくための環境づくり

県では、県内の先進的な農業法人で本格的に農業ビジネスを学ぶことができる「みえ農業版MBA養成塾」を4月に開設します。今回は、その受け入れ先の一つである浅井農園(津市)を訪ねました。社長の浅井 雄一郎さんの案内でトマトの品種育成などに取り組む研究棟へ。世界中から集めたトマトを日本でおいしく栽培できるか試験しているそうです。ほかにも、大学や企業と一緒にAI(人工知能)を使った植物の生育過程の研究などを行っているそうです。同社で働くベルギー出身のハイダーさんも浅井さんの先進的な取り組みに魅せられた一人です。ハイダーさんがトマトを育てる研究棟のハウスは、なんと軒高6mもあり従来のトマト栽培のように腰を曲げずに楽な姿勢で作業ができます。ハウス内ではリラックスできるような音楽を流すなど、いろいろな工夫がされていました。「若い人にも農業に携わってもらえるよう、働きたくなる環境づくりを大事にしています」と教えてくれました。



ウー 呉さんにお会いしました。入社きっかけを聞くと「グローバルに活躍できる場があると感じました」とのこと。海外からの研修生も多いそうです。三重の農業の魅力が世界に届いているのは素晴らしいですね。



最後に就農を考える人へのアドバイスを浅井さんに尋ねると「農業は非常に面白い仕事ですが、面白いだけでは続きません。経済的にもきちんと自立ができて、みんなが幸せになれることが大切です。私たちは就農10年選手として若い人たちの力になりたいと思っています。一緒に三重県の農業を盛り上げていきましょう」と心強い言葉をいただきました。県では、新規就農者への支援や県産食材の販路開拓などを進めています。みんなで三重の農業の魅力を高めていきたいと感じた取材でした。

最後に就農を考える人へのアドバイスを浅井さんに尋ねると「農業は非常に面白い仕事ですが、面白いだけでは続きません。経済的にもきちんと自立ができて、みんなが幸せになれることが大切です。私たちは就農10年選手として若い人たちの力になりたいと思っています。一緒に三重県の農業を盛り上げていきましょう」と心強い言葉をいただきました。県では、新規就農者への支援や県産食材の販路開拓などを進めています。みんなで三重の農業の魅力を高めていきたいと感じた取材でした。



取材/知事 鈴木英敬



株式会社浅井農園 代表取締役 浅井 雄一郎さん



安全で品質の高い農作物を世界へ

東京オリンピック・パラリンピックを見据えて、安全な農産物の生産につなげる「グローバルGAP認証」を取得し、海外への販路を広げたいと言います。



研究中のトマトを試食。どれもおいしく商品化が楽しみです。



「最先端のハウスでのトマト作りが大好き」と言うハイダーさん。

三重県公式フェイスブックに、取材後の皆さんのごぼれ話などを投稿します!

ぜひ「いいね!」や「シェア」をし、県内で活躍する「三重のひと」を応援してください!

三重県 Facebook Q検索

## 三重の農業を一緒に盛り上げたい

続いて訪れたオフィスでは、海外の品種・園芸資材の輸入など海外の販路開拓に取り組む中国出身の

- 「知事が行く! 突撃取材!」のインタビュー詳細版はホームページで。県政だより みえ Q検索
  - 取材の様子は三重テレビ「県政チャンネル ～輝け! 三重人～」で3月9日(金)22時15分から放送します。
  - 三重県インターネット放送局「知事突撃取材」でYouTubeでも配信。
- 問い合わせ先/戦略企画部 広聴広報課 ☎059-224-2788 ☎059-224-2032 ✉koho@pref.mie.jp

いつでも便利! 操作は簡単!

三重県データ放送

暮らしの便利帳

イベントなどの最新情報はデータ放送で!!

三重テレビ7チャンネル「d」ボタン

注目! 三重県データ放送から安全・安心/緊急情報をご紹介します



安全・安心/緊急情報

不正な架空請求はがきにご注意ください!

現在、三重県内において、「少額消費料金未納に関する訴訟最終告知のお知らせ」や「総合消費料金未納分訴訟最終通告書」など類似した「架空請求はがき」による被害が発生しています。

はがきは、もつともらうしん 法律用語を用いたあたかも財産の差し押さえが強制執行されるかのように、消費者の不安をあおる内容となっています。

差出人が法務省等の公的な機関に類似した名称を使用した「架空請求はがき」も報告されていますので、注意が必要です。

身に覚えのないメールや不当請求は、断固無視!

困った時は、188(いやや)へ電話してください。

三重県制作 CM 「ダンコムシのうた」

三重県インターネット放送局で好評公開中!

三重県制作 CM 「ダンコムシのうた」

三重県インターネット放送局で好評公開中!

県ホームページでも「県政だより みえ」「声の三重県だより」を配信しています。県政だより みえ Q検索

次号のお知らせ

4月号は4月1日(日)に新聞折り込み予定です。

編集・発行/三重県広聴広報課「県政だより みえ」に関するご意見・ご感想をお寄せください。点字版・音声版をご希望の方は、お問い合わせください。〒514-8570(住所不要) 三重県広聴広報課 ☎059-224-2788 ☎059-224-2032 ✉koho@pref.mie.jp 県庁電話案内(各課ご案内) ☎059-224-3070

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

三重県は環境保全活動を推進するシンボルとして、エコマークを使用しています。

この広告紙は、再生紙と、環境にやさしい植物油インクを使用しています。

「県政だより みえ」の発行経費の一部に充てるため企業広告を掲載していますが、内容に関する一切の責任は広告主に帰属するものです。なお、掲載については、広告掲載業務の委託先である株式会社ホープ(☎092-716-1404)までお問い合わせください。

三重県の人口・世帯数 人口/1,798,541人(男性:876,416人 女性:922,125人) 世帯数/732,861 世帯 平成30年1月1日現在

現在B型肝炎ウイルスに感染している

昭和16年7月2日〜昭和63年1月27日生まれ

2つとも当てはまる方は、政府から給付金を受けられる可能性があります。対象となる方から母子感染した方や、ご遺族(相続人)も対象となります。

給付金額の一例

死亡・肝がん	最大	3,000,000円
軽度の肝硬変	最大	2,500,000円
慢性肝炎	最大	1,250,000円

ご自身が対象者かとも思われた方は、**早め**の請求をご検討ください。時間がかかると必要書類の入手が難しくなる場合があります。対象者に手に入らなくなることがあるからと、対象者になりたくないのでと、**無料電話相談**で簡単に確認できます。気軽に電話ください。

※給付金を受取るには国に対して訴訟提起する必要があります。

※必要書類は給付金額の14%(税抜)です。最低額は15万円です。(国から弁護士費用の補助として給付金額の4%が支給されます)

大井弁護士会・東京弁護士会・神奈川弁護士会所属 弁護士大倉りえ

**無料電話相談** 0120-918-862 (平日9:00~17:30) ※平成29年11月末現在 相談件数4,700件以上

入れ歯やブリッジ、歯でお困りの方必読!

インプラントのことよくわかった!

※読んだ方の約92%が「とても参考になった」「参考になった」と回答 (2015年度弊社実施アンケート)

「インプラント」が詳しくわかるガイドブックを**無料進呈**

- 信頼できる歯科医院の選び方
- 知っておくべきインプラントの長所と短所
- 他では聞けないインプラント体験者の声...など、内容豊富!

お申込み実績 (2017年) 年間 **38,417** 名様

無料資料は、今すぐこちらからお申し込みください!

0120-418-460 受付時間 ▶ AM9:00~PM8:00(月~金) AM9:00~PM6:00(土・日) (祝日は定休)

日本インプラント株式会社 〒600-8429 京都市下京区烏丸通五条上ル 御供石町369 京都万寿寺ビル8F